

ふじみ野

市議会だより

No.38

H27.8.1 発行

埼玉県ふじみ野市議会

CONTENTS

議会新人事 決まる 2p

“いじめのないまち”を目指して 4p

市政を問う！ 一般質問 16人が政策論議 6p



働く人シリーズ⑬ 茶農家

茶農家は市内に2軒。狭山茶として全国に知られています。独特の火入れをして香ばしいのが狭山茶の特長。新茶のシーズンには午前中に収穫して、午後には製茶します。味は値段ではなく好みで決まるそう。ぜひ飲み比べてみては。

関連記事…12ページ

議会新人事 決まる

気持ち新たに「よろしくお願いいたします」

正副議長 あいさつ



副議長
西 和彦



議長
小高 時男

私たちは、5月19日の臨時会におきまして議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、改めて責務の重大さを痛感しております。

今後一層の創意工夫と努力を積み重ねるとともに、市民の皆様のため、執行機関との議論を通して有効な政策を推進し、課題解決に取り組んでいく所存です。

本年は、ふじみ野市が誕生して10年の節目の年となります。市議会として、これまでの歴史を踏まえつつ、さらなる議会改革と活性化に努めてまいります。市民の皆様におかれましては、今後とも市議会へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

入間東部地区衛生組合

富士見市、三芳町と本市によって組織され、し尿処理や火葬場・斎場の管理等を行っています。

谷 新一 小林 憲人
伊藤美枝子 伊藤 初美
足立志津子

入間東部地区消防組合

富士見市、三芳町と本市によって組織され、消防業務を計画し、実施しています。

島田 典朗 堀口 修一
山田 敏夫 大築 守
塚越 洋一

写真

議席番号・氏名
(会派)

住所
電話番号

所属常任委員会
※ 委員長◎
副委員長○



⑮ 小高時男
(青藍会)

上野台一丁目
☎ 263-8306
[市民・都市]



⑭ 山田敏夫
(青藍会)

滝三丁目
☎ 264-2033
[市民・都市] ◎
[議会運営]



⑩ 伊藤美枝子
(公明党)

新田一丁目
☎ 267-1951
[総務]
[議会広報] ◎



⑨ 足立志津子
(日本共産党)

築地三丁目
☎ 266-1678
[市民・都市]



⑮ 西 和彦
(青藍会)

鶴ヶ岡三丁目
☎ 263-5774
[総務]



⑪ 民部佳代
(無所属)

市沢三丁目
☎ 090-2724-8945
[市民・都市]
[議会広報]



⑦ 小林憲人
(青藍会)

南台一丁目
☎ 293-6326
[福祉・教育] ○
[議会広報]



④ 川畑京子
(公明党)

南台二丁目
☎ 080-9804-9720
[総務] ○



① 加藤恵一
(無所属)

上福岡二丁目
☎ 080-2256-2745
[総務]
[議会広報]



⑳ 床井紀範
(日本共産党)

大原二丁目
☎ 090-3430-1380
[市民・都市]
[議会広報]



⑯ 有山 茂
(青藍会)

鶴ヶ岡三丁目
☎ 261-0258
[総務] ◎
[議会運営]



⑫ 新井光男
(日本共産党)

大井
☎ 269-1792
[福祉・教育]



⑧ 島田典朗
(青藍会)

亀久保三丁目
☎ 293-2408
[福祉・教育] ◎
[議会広報]



⑤ 島田和泉
(公明党)

亀久保二丁目
☎ 080-9804-9719
[福祉・教育]
[議会運営] ○



② 鈴木啓太郎
(無所属)

上福岡四丁目
☎ 090-1609-6251
[福祉・教育]



㉑ 塚越洋一
(日本共産党)

大井中央二丁目
☎ 261-2376
[総務]
[議会運営]



⑰ 大築 守
(青藍会)

鶴ヶ岡二丁目
☎ 261-0253
[福祉・教育]
[議会運営] ◎



⑬ 伊藤初美
(日本共産党)

西鶴ヶ岡二丁目
☎ 262-1040
[福祉・教育]
[議会運営]



⑨ 堀口修一
(公明党)

亀久保四丁目
☎ 261-6533
[市民・都市]
[議会運営]



⑥ 谷 新一
(青藍会)

新駒林三丁目
☎ 263-1033
[市民・都市] ○



③ 渡辺 大
(青藍会)

丸山
☎ 090-4241-4311
[総務]
[議会広報] ○

平成27年第2回定例会が開催され、一般会計補正予算、子どもいじめ防止条例、男女共同参画推進条例などの議案が提出されました。特に子どもいじめ防止条例や男女共同参画推進条例は質疑が集中し、活発な議論が行われました。

最終日の福岡小学校・大井中学校大規模改造工事請負契約の追加議案を含め、市長提出議案12件全てと、議員提出議案のうち4件が可決されました。

条例制定 賛成多数で可決

子どもいじめ防止条例 “いじめのないまち”を目指して

いじめ防止対策推進法の規定に基づき、市の責務や役割を明らかにし、いじめの防止のための基本事項を定めることにより、市全体で子どもが安心して生活し、健やかに成長できる社会の実現を目的とするものです。

●主な質疑

問 子どもの権利条約では、子どもの意見表明権が保障されている。子どもたちの思いや願い、意見の反映は。

答 聞き取り調査やアンケートの結果に基づき、専門の相談機関を設置したほか、多くの意見を具体的に条文内に盛り込んでいる。

問 いじめ防止対策推進法におけるいじめ問題対策連絡協議会では、警察も構成員となっている。本条例のいじめゼロ連絡

協議会の構成は。

答 啓発や調査、研究組織であり、警察は含まない。構成は、教育委員会やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談室、自治組織連合会、PTA連合会等を考えている。

問 いじめ調査委員会の位置づけは。

答 いじめが判明した場合、学校や市が編成するいじめ問題対策委員会等が、教育的な配慮のもと、聞き取り調査や事後ケア、保護者への助言を行

う。

重大事案が起きた場合には、いじめ調査委員会が調査を行うが、教育的な配慮が前提となる。

●主な意見

賛成 市等の責任の所在を明らかにする条例となっている。

賛成 懲罰には踏み込まず、まな訓示的な規定となっている。

反対 罰則で取り締まるといいう上位法の趣旨に基づいた条例となっている。

提出議案と審議結果

◎全員賛成 ○賛成多数
・否決

5月臨時会（5月19日）

…専決処分の承認 ……

◎市税条例等の一部改正

◎都市計画税条例の一部改正

◎国民健康保険条例の一部改正

◎国民健康保険条例の一部改正

◎介護保険条例の一部改正

…以上、承認 ……

…人事…

◎教育委員会委員の任命

◎監査委員の選任

…以上、同意 ……

6月定例会

…平成27年度補正予算 ……

◎一般会計（第1号）

…条例の制定 ……

◎男女共同参画推進条例

◎子どもいじめ防止条例

…条例の一部改正 ……

◎特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例

◎市立図書館条例の一部改正

…その他 ……

◎新市建設計画の変更

◎道路線の認定（1件）

◎道路線の認定（2件）

◎福岡小学校大規模改造工事請負契約の締結

◎大井中学校大規模改造工事請負契約の締結

…以上、可決 ……

◎人権擁護委員の候補者の推薦

…以上、可決 ……

…意見書 ……

◎子宮頸がん予防ワクチン接種後の副反応被害の早期解決を求める意見書

◎地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書

◎日本年金機構情報漏えい問題の再発防止を求める意見書

…以上、可決 ……

・マイナンバー制度廃止を求める意見書

・安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書

・辺野古新基地建設の中止を求める意見書

・雇用の安定を求める意見書

…以上、否決 ……

…動議 ……

◎伊藤初美議員の一般質問における発言に対し、不適切な発言の取消し又は訂正を求める動議

条例制定 全員賛成で可決

男女共同参画推進条例 誰もが自分らしく活躍するために

男女が互いの人権を尊重し、個性と能力を発揮できる社会を実現するための基本理念や原則を定めた条例です。

●主な質疑

問 本条例の制定の背景は。

答 これまで、市は男女共同参画の指針となる基本計画、男女共同参画プランを作成し、様々な施策を展開してきた。今後は地域特性に応じた男女共同参画施策を積極的に実施していくために、本条例を制定することで、施策推進の強力な根拠としたい。

問 女性職員が管理職を目指す意欲を引き出す取り組みは。

答 女性職員を対象にした、キャリアデザイン研修などへの参加を進めていく。

●主な意見

賛成 担当課の市民総合相談室に専門知識のある職員の拡充を。

賛成 現在、あらゆる分野に関わる。事業を行うために、全庁的な職員研修の位置づけが重要だ。

請負契約締結 全員賛成で可決

福岡小・大井中大規模改造工事 老朽化した校舎をリフレッシュ

福岡小・大井中大規模改造工事
契約金額：福岡小6億6116万円
大井中5億7980万円

福岡小学校と大井中学校の屋上防水、外壁等の老朽化対策、トイレ改修等、校舎の全面的な改修を行います。工事は主に夏休み期間を利用し、今年度から2カ年にわたって行われます。

●主な質疑

問 福岡小学校について、3つの業者が同額で入札している。わかりやすく説明を。

答 国からの新たな通知に従うと、設計金額から最低制限価格が推測されやすくなる。そのため、同額での入札となったと考えられる。

問 大井中学校の現場は狭く、周辺道路の交通量が

が激しい。かつ、周辺は住宅が密集しているが、契約にあたり配慮することとは。

答 最善の注意を払って業者と調整していく。

●主な意見

賛成 財源確保が厳しい中で、子どもたちの教育環境の改善を後回しにすることなく進めていくことを評価する。

賛成 学校行事などに配慮しつつ安全第一で進めてほしい。

平成27年度 補正予算（1号） 全員賛成で可決

元気・健康の 好循環に向け

子宮頸がん予防ワクチン接種後の疾病等に要した医療費の給付、第3子以降の保育料の軽減、元気・健康づくり事業に要する費用が計上されました。

●主な質疑

問 元気・健康づくり事業の目標は。

答 転倒予防や体力の向上、生活習慣病や要介護状態の予防などにつなげ、医療費の削減を目指したい。また、対象者の健康づくりが継続して実践できるよう、総合的な支援をしていく。

問 どのような人が対象か。

答 50歳以上で医師から運動制限の指示がな

く、自力で会場まで来られる人で、3年間継続して参加可能な120人を予定している。なお、今年度の実施期間は9月から翌年3月までの7カ月間で計画している。



◆議案に対する質疑

青 藍 会 山田 敏夫 議員
日本共産党 塚越 洋一 議員
公 明 党 伊藤美枝子 議員

市政を問う！一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、16人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（8月下旬掲載予定）

担い手不足を解消し 保育の一層の充実を

島田典朗 議員

問 資格を保有しながら保育士として働いていない潜在保育士の就職促進策は。

答 市報での広報や保育

所等での掲示、退職者への声かけ、近隣大学への協力依頼等を行って

問 潜在保育士に特化し

た広報活動は。
答 子育て専門サイト「ママフレ」の活用や、県作成の冊子等を参考にしていきたい。

問 保育士登録簿の活用等、潜在保育士とのネットワークの構築は。

答 現在、登録簿の活用は行っていないが、本市

独自の登録制度を立ち上げ、長期的な保育士確保を講じていきたい。
問 ハローワークや保育士・保育所支援センター等との連携強化は。

ていきたい。あわせて、公私合同での保育士就業説明会も検討したい。
問 介護手当は月5千円支給されており、介護者の心の支えにもなっている。今後の方針は。

在宅介護を支援する ために

答 財政状況や社会情勢等を見据えながら、制度の継続や見直しを研究していきたい。
問 国の補助財源で制度の充実を図っては。

答 支給条件等の面から現制度を選択した経緯があり、現状では考えていない。

保育ニーズに応える 包括的サポート体制

島田和泉 議員

問 多様な生活様式に適した相対対応は可能か。

答 入所相談等において、生活様式に応じた保育施設・事業を紹介している。

問 認可保育所に入所できなかつた場合のアフターフォロー体制は。

答 市指定の家庭保育室

や近隣市町の認可保育所の提案などを行って

問 保護者ニーズと保育事業の適切な連携を図るため、保育コンシェルジュ導入を検討すべきで

は。
答 どのような利用者支援が適しているのか検討

エコパの環境改善

問 バーデプール周囲がガラス張りのため、紫外線対策が必要では。

答 ガラス張りは開放感



バーデプール

三角小学校周辺の 防犯対策

問 通学対象児童が増え、通学路周辺の防犯や安全対策が急務では。

答 今後も見守り強化を図るため、学校周辺の自治組織と学校、家庭の連携を強化し、安全確保を図っていく。

認知症支援体制の推進を

伊藤美枝子 議員

問 本市においても認知症が増加傾向にある。認知症を正しく理解し、早期に発見・治療をすること、改善や進捗を遅らせることができる。認知症初期集中支援チームの役割は。

答 認知症が疑われる人、また認知症の人や家

族を訪問し、かかりつけ医と連携しながら適切な治療・サポートを行っていく。

問 認知症を早期に発見するには、かかりつけ医の認知症に対する研修の推進が重要と考えるが。

答 医師会への働きかけも含めて、今後も積極的

「ふじみ野いっしょマップ」を 市民の手で

堀口修一 議員

問 市制10周年という佳節にあたり、市民が感じる本市の良いところを公募し、市民の目線に立つたタウンマップの制作を。

答 シティプロモーションの推進に有効であるとともに、郷土への愛着心を高めるまちづくりに大

変効果があり、作製を検討していく。

南側地域の行政サービス向上を

問 本市のさらなる発展という観点からも、市の南側地域に行政拠点を整備していく必要性が高まっている。既存の施設

を活用していけないか。
答 バリアフリー化や建ぺい率の問題等、活用にはハードルの高い施設もある。行政拠点へのアクセスの面から公共交通の見直しの中で、地域の利便性を検討していく。

文化的な財産の管理

問 市が所有する文化的な財産について、市民共通の財産として活用・管理していくために、管理規程を明確にすべきでは。



南側地域のうれし野周辺

答 これまで市に寄贈された芸術作品の展示・活用については明確な指針がない状況であり、今後策定する文化振興計画の中で施策を検討する。

地域公共交通の 今後の計画は

問 定時定路線とデマンド型を組み合わせた運行方式など来年1月を目途に実証運行を行うが、地域公共交通に関する検討組織の今後の計画は。

答 6月中に法定協議会として設置する予定である。

問 高齢者の足の確保のみではなく、通勤通学の要望も高いが利用は。

答 通勤通学の利用者の利便性も考慮する。
問 児童発育・発達支援センターの支援
問 児童発育・発達支援センターは、早期発見から早期療育までを支援する中心的なセンターと期待している。支援内容は。
答 集団適応に関する発達支援・個別指導・発育発達療育相談・保育所等の訪問を行い、切れ目のない支援の実施を考えている。

質の高いホールを

民部佳代 議員

問 公民館のホールが老朽化している。整備の方針は。

答 まちづくりの計画など総合的に判断して計画する。

問 文化という面で考えれば、ホールの評価は稼働率の高さだけでなく質も重要。何にでも使える

多目的ホールでいいのか。

答 どのような活用が望ましいのか、市民への情報提供を含め、議論していきたい。

ドローン使用の ルール化を

問 市が管理する公園、道路、学校でドローンを

多様な保育ニーズ への対応

問 早朝・夜間の保育ニーズに対応を。

答 今年度から夜間や休日の保育加算が拡充され

たので、調整を進める。

公園愛護会の今後

問 活動の内容は。

答 公園内の清掃、花壇や樹木の手入れなど様々である。

問 会員が高齢化し活動量が少ない愛護会もある。各愛護会の意向は。
答 高齢化で会員の減少が課題という意見が多くある。会員を増やすための広報など必要な支援を行っていく。

一般質問



合唱前のウォーミングアップ

みんなのための公園整備を

川畑京子 議員

問 清見第1公園（交通公園）に市民のニーズに対応した幼児用トイレ、多目的トイレを新たに設置してはどうか。

答 今年度多目的トイレへの改修を行う。幼児用トイレの設置については多目的トイレ内において、兼用便座にするなど

問 西中央公園に健康遊具の設置を。

答 市では今年の1月に「元氣・健康都市宣言」を行い、元氣・健康による好循環のまちを目指している。高齢者が気軽にストレッチをしたり筋肉を鍛えたりできることから、市民の健康増進に役立つもの



清見第1公園のトイレ

と認識しており、公園のリニューアルを計画する際に検討を行う。

関越自動車道東西地区の雨水対策

大築 守 議員

問 関越自動車道東西地区の雨水対策は。

答 砂川堀1号、2号雨水幹線の負荷軽減、事業費縮減のため、大井中学校付近をはじめ、3カ所の雨水調整池整備を計画している。

問 ほかに調整池の計画場所は。

答 平成31年度までに関越自動車道西側地区に2カ所の整備を計画している。

問 川越江川都市下水路に、区域外流入している幹線は。

答 砂川堀1号、2号幹線分が流入。調整池を整備することで、下流の元

問 上福岡歴史民俗資料館・大井郷土資料館の活動状況は。

答 事業として小学生の社会科体験学習や企画展などを開催している。

問 今後の資料館の運営に新たな考えは。

答 資料の収集・保存・展示という待ちの姿勢から、他の施設等を利用し

問 新伊佐島橋への道路開通に伴う橋の隅切りを。

答 工期の関係で難しい。

問 旧福岡高校と運動公園の間に橋の新設を。

答 橋の新設は難しいが、旧福岡高校跡地の利用とあわせて研究していく。

た攻めの姿勢に転じて、施策の展開を行うことも検討する。

下福岡地域に簡易な橋を

問 期日前投票所を駅やスーパーマーケットなど人の集まる場所に増設すると投票率の大きな向上が見込まれる。他市では大きな成果を上げているが、本市の今後の予定は。

答 投票率向上対策として有効であり、先進市の調査・研究を進める。

問 佐賀県武雄市の図書館などで成功している収益事業を実施し、その収益を運営に充てる手法により更なるサービスの向上を。

答 喫茶「歩歩」の営業終了後からのカフェラウンジによる収入、託児サービスなどの収入を図書の購入などに充てることを検討中である。なお、開館時間は夜



武雄市図書館

8時まで延長となる。

ボール遊びができる場所の確保を

問 ボール遊びのできる場所が少ないとの声をよく聞くが、公園内の仕切りの設置、学校の校庭開放、調整池の活用等により対応できないか。

答 子どもたちのボール遊びの場所の確保は、都市の抱える困難な課題だが、関係各課と連携して対応を検討していきたい。

地域公共交通政策

谷 新一 議員

問 公共交通に関する市民意識調査について無作為抽出方法とされているが、調査対象の選定で考慮した点は何か。

答 65歳以上の方が含まれる世帯を対象とした。

問 街路樹や公園樹木等の

の保全管理と近隣住民への対応は。

答 緑の大切さを理解してもらうとともに、定期的な剪定作業を行い、適切な管理に努めていく。

問 緑被率アップに向けて強化すべき取り組みは何か。

答 市街地の緑を増や

問 生活困窮者自立支援制度の学習支援や民間支援団体など、横との連携は。

答 教育委員会をはじめ教育現場や地域の支援団体、施設等と幅広い連携が必要であり、現在調整を進めている。



労働行政の拡充を

床井紀範 議員

問 ふるさとハローワークの具体的な開設時期や場所は。

答 年度内に、本庁舎増築棟2階に開設する。

や福岡武蔵野の交通安全対策の方針は。

答 路側線を整備したほか、事業者には交通安全対策のお願いをしている。

サンロードのバリアフリー化

問 上福岡駅東口サンロードのベンチが古くなっている。ベンチの再整備や日よけの設置は。

答 地元商店会からベンチ設置に対する補助金の要望があるので、市として支援していきたい。日よけの設置は難しい。

福岡中央公園の整備



雨の福岡中央公園

問 マミーマート建設地周辺の交通安全対策

元福岡地域の雨水対策の推進を

問 新河岸川下流部の改修事業の見通しは。

問 雨が降ると、福岡中央公園はぬかるみがひどい場所がある。園内通路の整備が必要では。

答 市道と同等には扱えないが、可能な範囲で対応したい。

問 公園内の出入り口は段差があり、車いすやベビーカーが入りづらい。改善を。

答 今後、出入り口の段差の解消を検討する。

問 自衛隊機に関する情報提供と、市民への十分な説明責任を。

答 飛行訓練として入間飛行場を中心に飛行するとき、本市上空を通過することはある。家屋等の密集地域の上空で、最も高い障害物の上端から300メートルの高度が最低安全高度と規定され



雨の福岡中央公園

横田飛行場周辺での飛行訓練は、既存の飛行経路を飛行するとした場合、本市は含まれていない。実際の飛行経路は運用に係ることであり、不明とのことである。

今後もし引き続き、埼玉県基地対策協議会等を通じて要望活動や情報収集を行い、住民への不安の解消や、安心して生活が送れるよう努める。

本市上空の自衛隊機飛来問題

新井光男 議員

※緑被率 樹林・草地、農地、園地など、緑で覆われる土地の面積の割合で、自然度を表す指標の1つ。



核兵器廃絶の願いを込めて

市民の自主的な活動を積極的に支援

鈴木啓太郎 議員

問 地域では健康づくり、栄養講座などがとても人気がある。市民の自主的な取り組みを支援することが大切では。

答 保健センターで実施する講座受講者の中から講師やスタッフとなる人材の育成に努め、食生活改善推進員協議会などの

各種団体との連携を図り、自主講座の開設・運営を支援したい。

公民館の利用手続を簡単に

問 公民館の利用にあたって減免申請書を毎月提出することに変わった。利用者の負担が大きい。

いが、改善できないか。

答 平成27年度から毎月申請としたところ、利用団体の負担が大きく改善の要望が多く寄せられたため、6月1日より、施設の利用申請とあわせて減免申請書を自動発行できるように変更した。

問 公共施設予約システムで便利になったという市民もいる一方、使い勝手が悪いという人もいます。その点への配慮を。

答 予約システムの操作

サポートについては、従来の方法も含めて、予約・申請などしやすい方法に改善していく。また、予約申請等で何回も公民館に行かなければならない点も改善することを検討する。



公立保育所の整備は市民と協議を

伊藤初美 議員

問 亀久保・鶴ヶ岡保育所の整備計画は、協議会を設けて市民と行政で議論すべきでは。

答 保護者代表との話し合いを続けてきた。相談等については、随時、個別に対応していきたい。

問 旧西保育所の今後は。 **答** 備品等の一時保管場所として当面利用する。

今後は処分等を含めて、活用方法を検討する。

国保医療支援の拡充

問 生計維持者の死亡などで所得が激減した場合の入院にかかる医療費の一部負担金減額、免除の対象を通院にも拡大できないか。 **答** 財源確保や公平性の

合併浄化槽への補助

問 合併浄化槽の設置費と維持管理費の補助制度を創設できないか。 **答** 公共下水道使用者との公平性の観点から補助は考えていない。

平和都市宣言市として事業の拡充を

問 核兵器廃絶署名の取り組みを強化すべきでは。 **答** 引き続き公共施設での署名を呼びかけていく。

市内循環バスの運行改善

足立志津子 議員

問 地域公共交通会議の目的は。 **答** 利便性の高い公共交通実現のため、市民、交通事業者と市が担うべき役割や取り組むべき事業を決める。

集会施設と公民館の運営改善

問 集会施設で空室があ

るのに借りられない現状を改善すべきでは。 **答** 委託業者の管理人シフトの関係から、集会施設の申し込みは利用日の3日前までとしている。 **問** 社会教育施設である公民館は、公共施設予約システムから外すべきでは。 **答** 利用者の声を聞いて、

安全保障法制等への見解は

塚越洋一 議員

問 安全保障法制と市民の生命財産を守ることを第一の仕事とする市の見解は。

答 日本を取り巻く安全保障環境は厳しい状況となっており、国会の十分な審議と国民への丁寧な説明が必要と考えている。

空き家対策への新たな展開を

問 空き家対策特別措置法が施行された。本市も条例を見直して新たな展開を。 **答** 空き家の除却等による生活環境保全を進め、空き家バンク・防災空地・

市民交流施設等の利活用を研究したい。また、条例改正はより先行して行いたい。予防については、福祉部門と連携し、空き家になりそうな世帯の親族に必要な助言を行えると考えている。

雨水計画の変更

問 公共下水道（雨水）計画の変更は。 **答** 雨水貯留浸透施設3基をつくり、砂川堀1号と2号幹線の負荷を軽減

減、3号幹線は管渠ルートを現道に変更する。

桜ヶ丘のゾーン30

問 桜ヶ丘地域の「ゾーン30」の実施予定は。 **答** 8月頃に説明会を行った後、秋以降に実施する予定。

園庭確保への支援

問 亀久保ひまわり保育園に園庭確保の支援を。 **答** 早期の園庭確保への支援に努めていきたい。

想いが宿るベンチの設置を

小林憲人 議員

問 自らが出資することでベンチの設置ができる、マイベンチ制度を導入しては。

答 この制度により、ベンチの拡充を図ることができるほか、愛着を持てるなど様々なメリットがある。先進事例を参考に実施方法を検討していく。

イエローカードで散歩マナー向上を

問 放置されたペットの排泄物の横に、ボラントイアがイエローカードを置き、排泄物の減少につなげている事例が全国に多数ある。検討を。

答 先進市の事例を参考に効果面などを整理して

在宅福祉のさらなる充実を

いく。その上で、実効性の確証が得られれば、自治組織連合会などと協力して、実施する方法を検討する。

問 超高齢社会を控え、福祉サービスの多様化が求められている。社会福祉協議会と連携し、住民参加型在宅福祉サービスの推進を。

答 推進すべき事業として社会福祉協議会を支援

公共施設の適正管理を

問 公共施設に対する、複合化の考えは。 **答** 公共施設の複合化は有効な手法。高齢者施設に障がい者のグループホームを併設するなど、様々な手法が考えられる。市民や各種団体とともに、時間をかけながらもスピード感を持って考えていきたい。

がん検診受診率の向上を

問 胃がん検診、乳がん検診などの低受診率を改善する対策は。

答 乳がん検診、子宮頸がん検診で、過年度の無料クーポン券配付時の未受診者に再度、無料クーポン券を送付するなど、受診率向上を図る。

福岡江川の浸水対策

問 排水ポンプ設置の方向で準備が始まったが、遊水池設置の考えは。 **答** 新河岸川への影響を検証する中で検討の可能性も出てくる。



表紙：働く人シリーズに寄せて

編集委員が
インタビュー！

お茶農家の方に伺いました

Q お仕事の内容と繁忙期を教えてください。

A 仕事の内容は、家族経営で、お茶の生産・加工から販売まで行っています。仕事が忙しい時期は新茶のときで、3月中旬から5月のゴールデンウィークくらいです。これからは二番茶の時期で、6月中旬くらいから始まります。

Q 昔と今とでは何が変わりましたか。

A 最近、若い人が自宅で急須を使ってお茶を飲まなくなったことです。ぜひ、若い人にお茶の良さやおいしさを分かってほしいです。

Q 狭山茶の特長は何ですか。

A 独特の火入れをすることで、香りや香ばしさが全く違います。

Q 今後はどのようなことに力を入れたいですか。

A 緑茶以外では、趣味で紅茶を作り販売しています。今後はウーロン茶も作っていきたいです。東京オリンピックに向け、外国人を対象に海外へのルート拡大も視野に入れています。



ご協力：鶴ヶ岡の新井敏之さん

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の議事録も見られます。

アドレスが変わりました！

<http://www.city.fujimino.saitama.jp/categories/bunya/shigikai/>



6 月定例会の傍聴者は 99 人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の
開 会 予 定：9 月 1 日 午前 9:30～

請願締め切り予定：8 月 21 日 午前 10:00

市役所 4 階で開催します

議会広報常任委員会

委員長	伊藤美枝子	副委員長	渡辺 大
委員	加藤 恵一	委員	小林 憲人
委員	島田 典朗	委員	民部 佳代
委員	床井 紀範		

表紙の題字を書してくれた人
大井西中 2 年 長谷川音々さん

ふじみ野



毛筆は本格的にやったことがありませんが、少しでも市に貢献したく思い、今回書かせていただきました。
より良い「ふじみ野」になることを願っています。

編集後記

改選後初の定例会、6 月議会が新人議員 5 人を含む 21 人で行われた。

最終日、保育所の子どもたちを取り巻く環境に対する表現が不適切だとして、発言の取り消しまたは訂正を求める動議が提出された。現在、日本の至る所で火山活動が盛んになり、5 月には埼玉県北部を震源とする地震が発生するなど、最大震度 5 弱以上の地震も起きている。子どもたちの安全や安心、環境の整備など思いは同じはずだが、表現に行きすぎがあると誤解を招く。いたずらに不安をあおってはいけなない。

いかに正しい情報を伝えるか、限られた紙面の中で託された議会広報の役割も同じと考える。市民が手に取って読みたくなる、議会に関心を持っていただける議会広報となるように努めたい。

(伊藤美枝子)

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されております。ご理解をお願いします。